

兵庫民医連

急募!!

医学生 震災支援ボランティア

2013 年 10 月 4 日 (金) ~ 5 日 (土)

◆場所：宮城県山元町 他

◆内容：やまもと花釜秋祭り

仮設住宅での健康チェック・各種撤去作業

※支援内容は変更になる場合があります。

◆持ち物：雨具・着替え・健康保険証・現金

◆費用：自己負担は、3,000 円

※別途ボランティア保険 (830 円) 加入費用

加入済の方は不要です。

タイムスケジュール (予定)

◆1日目

19:00 伊丹空港集合

19:35 伊丹空港出発

21:00 仙台空港到着

22:00 宮城県柴田町到着

◆2日目

9:00 活動開始

15:00 支援終了

17:35 仙台空港出発

19:15 伊丹空港到着

兵庫民医連の震災支援ボランティアには、地元の神戸大学・兵庫医科大学だけでなく全国から多数の医学生が参加しています。

これまで側溝の泥かき・家屋の解体作業・仮設住宅での健康相談を行ってきました。また、沿岸部の学校では津波被害により授業が中断しました。そこで、昨年末から中学生への勉強支援にも取り組んでいます。

*ボランティア報告はホームページでもご覧になれます。 [兵庫民医連](#) [医学生](#) で検索！

医学生のみなさん、是非参加してください！ ご協力をお願いします。

☆お申込みはこちらまで☆

兵庫民医連・医学生ボランティア係

E-mail: igakutai@kobe-iseikyo.or.jp (神戸協同病院)

◆件名に「震災支援ボランティア参加希望」と入力、

本文に「名前・学校名・学年・年齢・性別・住所・電話番号」をもなく入力下さい。

定員は「5名」です。

◆お申し込み期限は、9月20日です。

定員に達し次第、募集を締め切らせていただきます。参加を希望される方はお早めにお申し込みください。



昨年、秋祭りに参加してくれた医学生のレポート 「メディウェーブひょうご」2012.12月&2013.1掲載【医学生レポート②】より

11月の震災支援ボランティアに、医学生が参加してくれました。今回の支援内容は被災者宅での草むしり、亘理郡山元町花釜地域での秋祭りのお手伝いなどです。秋祭りには、地域の方が300名以上集まり、大盛況でした。兵庫民医連では震災直後から継続した支援活動を行っており、これまで多数の医学生が参加してくれています。

では、今回支援ボランティアに参加してくれた医学部3年生のレポートです！

今回、震災支援ボランティアに参加させていただいて、今まで私が漠然と考えていた被災地のイメージと、大きな差があることにとても驚きました。秋祭りに参加させていただいている際、被災者の方々が、笑顔で話しかけてくださったり、お手伝いしてくださったりと、とても明るく接してくださった一方で、実際に、震災の体験談を聴かせていただくと、未だに心の整理がつかず、苦しんでいらっしゃるということがありありと伝わってきました。

震災から、1年8ヵ月が経ち、テレビなどから入ってくる情報が減っていくことで、私はなんとなく、被災地で起こっている色々な問題が、解決していているものだと思っていました。しかし、津波の被害を受けた地域を見学させていただくと、建物の土台だけが残っている様子が一面に続く場所、室内がぼろぼろになってしまった小学校、壊れてしまった車など、手付かずの状態様々なものが残っており、今後、これらをどうするのか、仮設住宅に住んでおられる方々の今後の住居、若い方々の就職先についてなど、被災者の方のお話からも、今後の問題が山積みであることがわかりました。今回の体験を通して、継続したサポートの重要性を改めて実感しました。ボランティアの中心となっておられる、みやぎ県南医療生協の方からも、被災者の方は、今回の秋祭りや、支援で来てくれているボランティアが帰っていくのを見て、とても寂しく感じていらっしゃることをお聞きし、定期的に被災地に向かうことが、私たちが常に被災地に関心を持っているという、被災者の方々へのメッセージになり、精神的な支えに少しでもなれば良いと思いました。また、医学生の立場で、医療行為もまだ行えず、ボランティアができるのかという不安があったとき、生協の方がおっしゃってくださった、中心は現地の方々であり、必要とされていることを行うことがボランティアであるという言葉にとても感銘を受けました。今回のボランティアに参加させていただいたことで、被災地では、労働力や医療が必要とされているのはもちろんのこと、それ以外にも、精神的なサポートや、大学生であれば、震災によって勉強が遅れてしまった子供たちへの学習支援など、より細やかな支援も必要とされていることを知り、私にもできることが多くあるということに喜びを感じました。震災支援ボランティアに参加させていただいたことで、ほんの少しではあると思いますが、被災地の現状を知り、テレビなどのメディアを通してのみ受けた情報から想像していたものとのギャップを埋めることができ、とても多くのことを考え直すことができました。震災支援について考えたとき、医師不足の問題や格差の問題など、普段、社会で話題にされている様々な問題について、より深く知っておく必要があると感じ、今後少しでも、それらについて勉強できればと思います。医学生にもできることがあるということを経験したことで知ることができ、今回は行えなかった、学習支援活動なども、ぜひ、今後のボランティアに参加させていただき、行なっていきます。

兵庫医科大学3年生

■ 支援スケジュール ■

●10月4日(金)

- 19:00～ 飛行機で仙台空港へ
- 22:00～ 前日支援内容打ち合わせ

●10月5日(土)

- 09:00～ 会場設営・秋祭り準備
- 10:00～ 模擬店お手伝い・作業
- 15:00 支援終了
- 16:30～ 仙台空港へ
- 17:35～ 飛行機で伊丹空港へ
- 19:15～ 解散



兵庫民医連では現地のニーズに合わせ、今後も震災支援ボランティアに取り組んでいきます！

支援日程が決まり次第、ホームページで随時お知らせいたします。

ご協力よろしくお願いします。

兵庫民医連 医学生 で検索！